

1 背景

学校週5日制が平成14年度に完全実施され、各地域で休日の様々な活動が行われているところですが、土曜日に様々な経験を積んでいる子供たちが存在する一方で、必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在するとの指摘があります。

これを踏まえ、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、土曜日の教育環境を豊かなものにしていく必要があります。

2 目的

子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現します。

3 進め方

(1) 運営方針等の審議

- 学校、地域、保護者の代表者等により構成する放課後教室運営委員会で審議します。
- 運営委員会では、安全対策も含めた継続的な活動プログラムの計画、事業の検証・評価等を行います。

(2) 中部大学、民間企業、地域人材等への協力依頼

- 土曜日ならではの多様な教育プログラムを実施できるよう、中部大学、民間企業、豊富な経験を持つ地域人材等に協力を依頼し、活動内容の充実を図ります。

(3) 事業実施

年間3～6回程度、土曜日を有効に活用した多様な活動を実施します。

- 対象 小学校1年生～6年生
- 日にち 土曜日（概ね月1回）
- 時間 9：30～11：30
- 場所 小学校の家庭科室、グラウンド、体育館など
- 実施主体 教育委員会（学校教育課）
- 協力者 地域人材・大学・企業等の外部講師

(4) 実施校 今年度は市内11小学校で実施。